



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 上場取引所 東
 コード番号 3652 URL <https://www.dmprof.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長(兼)社長CEO(氏名) 山本 達夫
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 企画管理 掌 経営企画部長 (氏名) 大澤 剛 TEL 03(6454)0450
 定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 ー
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	3,016	29.9	328	—	330	—	331	—
2023年3月期	2,322	39.2	27	—	28	—	22	—

(注) 包括利益 2024年3月期 333百万円 (-%) 2023年3月期 28百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	105.33	—	10.1	8.5	10.9
2023年3月期	7.17	—	0.7	0.8	1.2

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	3,919	3,457	88.2	1,099.42
2023年3月期	3,842	3,124	81.3	993.30

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,457百万円 2023年3月期 3,124百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	660	△500	△0	2,603
2023年3月期	△37	465	△0	2,435

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	6.1	350	6.5	350	5.9	290	△12.5	89.03

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2024年3月期	3,152,400株	2023年3月期	3,152,400株
2024年3月期	7,240株	2023年3月期	7,166株
2024年3月期	3,145,185株	2023年3月期	3,146,773株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	3,016	29.9	325	—	327	—	328	—
2023年3月期	2,322	39.2	23	—	25	—	19	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	104.49	—
2023年3月期	6.05	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2024年3月期	3,911	3,445	3,445	3,113	88.1	1,095.36	989.95	
2023年3月期	3,834	3,113	3,113	3,113	81.2	989.95	989.95	

(参考) 自己資本 2024年3月期 3,445百万円 2023年3月期 3,113百万円

2. 2025年3月期の個別業績予想につきましては、個別情報の重要性判断により記載を省略しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. その他	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、2023年5月8日の新型コロナウイルス感染症の2類相当から5類への分類移行もあり、社会経済活動の活性化により、景気は緩やかに回復しました。しかし、円安の継続、物価やエネルギーコストの高騰等が経済、国民生活に与える影響が顕在化しています。また、世界の景気も総じて持ち直しの動きが見られましたが、金融引き締めによる影響に加え、中国経済の先行き懸念、足元の地政学的リスクの増大など下振れリスクに留意が必要です。

当社グループの属する半導体業界では、2023年は特にメモリー需要減に伴い市場はマイナス成長となったものの、2024年以降中期的には、あらゆるモノがインターネットにつながるIoTや人工知能(AI)、ビッグデータ、次世代高速通信規格、自動運转向けの需要拡大が見込まれます。

当社グループの事業領域であるAI/ビジュアル・コンピューティング分野においては、少子高齢化に伴う労働人口の減少、コロナ禍、気候変動等の社会・環境課題の解決や安全安心社会の実現に向けたイノベーションの加速やAIの果たす役割の増大が予想されます。

このような環境下において、当社グループは、社会・環境課題の解決への貢献と収益・利益の獲得を両立し、企業価値を向上させるCSV(Creating Shared Value)経営を実現することを、中期経営計画の基本方針としています。注力分野であるセーフティ分野及びロボティクス分野において、企画から量産までの顧客製品・サービスの開発ライフサイクル全体に亘り、アルゴリズム、ソフトウェアから、当社の強みであるハードウェアまでの一貫開発体制をもって、IPコアライセンス事業、製品事業、プロフェッショナルサービス事業を展開し、付加価値を提供することで、LTV(顧客生涯価値)の最大化を図っています。

当連結会計年度の注力分野における具体的な取り組みと成果としては、まずセーフティ分野において、既存・新規顧客向けにプロフェッショナルサービスを提供するとともに、安全運転支援向けとしてエッジからクラウドに亘る既存プロジェクトからのリカーリング収益を獲得しました。また、ザインエレクトロニクス株式会社と次世代スマートBEMS(ビル・エネルギー管理システム)等向けエッジAIカメラソリューションの実現に向けた協業を開始しました。さらには、当社の高いAI画像認識性能を活用した車のナンバープレート認識、人の属性・動線認識、人数カウント等のより広範なセーフティ分野向けPoCプロジェクトが進行しました。

ロボティクス分野においては、既存・新規顧客向けにプロフェッショナルサービスを提供するとともに、デモ機開発による自律走行ロボット向けの新規ライセンス獲得活動を推進し、実績を上げました。また、資本業務提携先のCambrian社のピッキングロボット向けビジョンシステムについては、透明パーツ、光沢パーツの認識精度や外乱光等の環境変化へのロバスト性の強みを生かし、自動車産業を中心とした製造業等の最終顧客の省人化や生産性向上に向けた製品納入、高確度商談が好調に進展しました。また、エコシステムを拡張すべく、接続済みの海外製に加えて国内製の主な協働ロボットへの接続対応を完了しました。さらには、花王株式会社の小田原工場(花王コスメプロダクツ小田原)のダイナミックセル生産システムに搭載されるなど、三品産業向けのビジネスも活発化しています。なお、Cambrian社がシリーズシードプラスの優先株式を発行するにあたり、資金面から同社の開発力の向上、製品・技術の競争力強化に寄与し、同社との戦略的提携関係を更に強化することを目的に、2023年11月29日にその優先株式の一部を追加取得(払込金額約48万米ドル)しました。

アミューズメント分野においては、稼働が好調なスマートパチスロを含むパチスロやパチンコ向けに画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、引き続きこのユニークな2D・3D統合チップの優位性を発揮できる市場セグメントにおけるシェア拡大を目指しています。

その他、様々な展示会に参加し、主に、セーフティ分野、ロボティクス分野における当社製品、サービス、技術のデモ展示を行い、新規顧客の獲得に注力しました。

当連結会計年度の業績につきましては、製品事業において画像処理半導体「RS1」の量産出荷を継続するとともに、Cambrianビジョンシステム、量産ドローン向けカメラモジュール等を出荷しました。IPコアライセンス事業においては、AI/GPUランニングロイヤリティ収入、セーフティ分野およびロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンスサポート収入等を計上しました。また、プロフェッショナルサービス事業においては、AI/GPU受託開発サービスを提供しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は3,016百万円(前年同期比29.9%増)、営業利益は328百万円(前年同期比1,114.3%増)、経常利益は330百万円(前年同期比1,046.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は331百万円(前年同期比1,367.8%増)となりました。なお、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額として41百万円を計上しました。

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、事業別業績の概要は以下のとおりであります。

①IPコアライセンス事業

デジタルスチルカメラ、4Kテレビ、OA機器等のデジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ収入に加え、セーフティ分野およびロボティクス分野におけるリカーリング収益、メンテナンスサポート収入等の計上により、売上高は170百万円（前年同期261百万円）となりました。

②製品事業

「RS1」の好調な量産出荷に加えて、Cambrianビジョンシステム、量産ドローン向けカメラモジュール等の売上の計上により、売上高は2,758百万円（前年同期1,956百万円）となりました。

③プロフェッショナルサービス事業

セーフティ分野、ロボティクス分野におけるAI受託開発サービスおよびその他分野におけるGPU受託開発サービスの提供により、売上高は87百万円（前年同期104百万円）となりました。

また、分野別業績の概要は以下のとおりです。

①セーフティ分野

IPコアライセンス事業におけるリカーリング収益およびメンテナンスサポート収入の計上ならびにプロフェッショナルサービスの提供により、売上高は71百万円（前年同期170百万円）となりました。

②ロボティクス分野

主に、製品事業におけるCambrianビジョンシステム、量産ドローン向けカメラモジュール等の売上計上およびプロフェッショナルサービスの提供により、売上高は168百万円（前年同期185百万円）となりました。

③アミューズメント分野

主に、「RS1」の量産出荷売上の計上により、売上高は2,642百万円（前年同期1,821百万円）となりました。

④その他分野

主に、IPコアライセンス事業におけるデジタル機器向けAI/GPUランニングロイヤリティ収入およびメンテナンスサポート収入の計上により、売上高は134百万円（前年同期144百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計額は3,919百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円増加しました。これは主に、現金及び預金が167百万円増加、投資有価証券が475百万円増加し、売掛金及び契約資産が587百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債および固定負債は合計で461百万円となり、前連結会計年度末に比べ256百万円減少しました。これは主に、買掛金が356百万円減少および契約負債が14百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計額は3,457百万円となり、前連結会計年度末に比べ333百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が331百万円増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は88.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、2,603百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、660百万円の収入となりました。主な増加要因は、売上債権の減少額587百万円、減価償却費41百万円および税金等調整前当期純利益330百万円であり、主な減少要因は、仕入債務の減少額356百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、500百万円の支出となりました。主な減少要因は、投資有価証券の取得による支出472百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、0百万円の支出となりました。減少要因は、自己株式の取得による支出であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	92.2	93.5	89.2	81.3	88.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	162.3	250.2	128.5	225.1	308.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

2021年3月期より連結ベースの財務数値により計算しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 各期とも、有利子負債残高ならびに利払いがないため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオの記載はしていません。

(4) 今後の見通し

今後の日本および世界経済は、金融不安、根強いインフレ、地政学的リスクの増大等により、不透明な状況が続くことが予想されます。

その一方で、AI/IoT向けの半導体需要の中期的な拡大が見込まれます。また、少子高齢化、気候変動といった社会・環境課題を克服するためのAIをはじめとしたテクノロジーの進化が期待できます。

当社グループは、「Making the Image Intelligent」というパーパスのもと、当社の創業来の強みである画像インテリジェンスの力で現実世界の問題を解決し、ステークホルダーに価値をもたらす革新的な製品とサービスを創造することに取り組んでいます。

アミューズメント分野およびIP分野の安定成長による確固たる事業基盤のもと、これまで取り組んできたロボティクスおよびセーフティ分野、その応用としての映像点検領域、半導体製造装置領域等において、PoCから製品化のサイクルを加速させ、中期的な事業成長を目指します。

以上を踏まえ、2025年3月期の連結業績につきましては、売上高3,200百万円（当連結会計年度比6.1%増）、営業利益350百万円（当連結会計年度比6.5%増）、経常利益350百万円（当連結会計年度比5.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益290百万円（当連結会計年度比12.5%減）を予想しております。

なお、実際の業績につきましては、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

財務諸表は、会社法上の分配可能額の計算や法人税法上の課税所得の計算においても利用されることを鑑み、当社グループは会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,435,996	2,603,750
売掛金及び契約資産	833,518	246,332
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	22,874	35,585
仕掛品	408	2,817
原材料及び貯蔵品	42,583	44,266
前払費用	39,872	28,896
未収消費税等	4,570	5,750
その他	3,985	5,385
流動資産合計	3,683,809	3,272,786
固定資産		
有形固定資産		
建物	51,243	51,243
減価償却累計額	△42,252	△44,181
建物(純額)	8,990	7,061
工具、器具及び備品	189,815	205,038
減価償却累計額	△133,467	△158,035
工具、器具及び備品(純額)	56,347	47,002
建設仮勘定	499	—
有形固定資産合計	65,837	54,063
無形固定資産		
ソフトウェア	24,094	9,298
その他	25	25
無形固定資産合計	24,119	9,324
投資その他の資産		
投資有価証券	7,747	483,227
長期前払費用	2,509	1,227
敷金	54,455	54,455
繰延税金資産	3,630	44,712
投資その他の資産合計	68,342	583,622
固定資産合計	158,299	647,010
資産合計	3,842,109	3,919,796

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	553,241	196,241
未払金	34,104	98,965
未払費用	1,515	2,033
未払法人税等	23,737	51,667
未払消費税等	28,394	54,686
預り金	7,967	12,204
契約負債	33,720	19,420
製品保証引当金	17,351	8,540
流動負債合計	700,031	443,761
固定負債		
資産除去債務	17,926	18,191
固定負債合計	17,926	18,191
負債合計	717,957	461,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,882	1,838,882
資本剰余金	1,858,093	1,858,093
利益剰余金	△575,090	△243,821
自己株式	△1,724	△2,016
株主資本合計	3,120,161	3,451,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	645	3,726
為替換算調整勘定	3,344	2,978
その他の包括利益累計額合計	3,990	6,705
純資産合計	3,124,151	3,457,844
負債純資産合計	3,842,109	3,919,796

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,322,112	3,016,061
売上原価	1,461,437	1,742,211
売上総利益	860,675	1,273,849
販売費及び一般管理費	833,616	945,277
営業利益	27,059	328,572
営業外収益		
受取利息	243	251
有価証券利息	962	1,263
為替差益	2,610	716
雑収入	—	0
営業外収益合計	3,816	2,231
営業外費用		
有価証券償還損	1,980	—
支払利息	72	317
雑損失	8	9
営業外費用合計	2,060	326
経常利益	28,814	330,477
税金等調整前当期純利益	28,814	330,477
法人税、住民税及び事業税	10,290	40,290
法人税等調整額	△4,044	△41,082
法人税等合計	6,245	△791
当期純利益	22,569	331,268
親会社株主に帰属する当期純利益	22,569	331,268

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	22,569	331,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,481	3,080
為替換算調整勘定	3,726	△365
その他の包括利益合計	6,207	2,715
包括利益	28,777	333,983
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	28,777	333,983
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,838,882	1,858,093	△597,659	△1,615	3,097,700
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			22,569		22,569
自己株式の取得				△108	△108
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	22,569	△108	22,460
当期末残高	1,838,882	1,858,093	△575,090	△1,724	3,120,161

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	△1,835	△381	△2,217	3,095,483
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益				22,569
自己株式の取得				△108
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	2,481	3,726	6,207	6,207
当期変動額合計	2,481	3,726	6,207	28,668
当期末残高	645	3,344	3,990	3,124,151

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,838,882	1,858,093	△575,090	△1,724	3,120,161
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			331,268		331,268
自己株式の取得				△291	△291
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計			331,268	△291	330,977
当期末残高	1,838,882	1,858,093	△243,821	△2,016	3,451,138

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	645	3,344	3,990	3,124,151
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益				331,268
自己株式の取得				△291
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	3,080	△365	2,715	2,715
当期変動額合計	3,080	△365	2,715	333,692
当期末残高	3,726	2,978	6,705	3,457,844

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	28,814	330,477
減価償却費	71,824	41,293
株式報酬費用	23,232	6,504
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	270	△8,810
受取利息及び受取配当金	△1,205	△1,514
為替差損益 (△は益)	△5,228	△7,098
売上債権の増減額 (△は増加)	△444,745	587,185
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△26,578	△16,803
仕入債務の増減額 (△は減少)	292,898	△356,999
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△2,116	△1,179
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,743	26,292
その他	38,146	75,826
小計	△37,430	675,172
利息及び配当金の受取額	1,983	1,012
法人税等の支払額	△2,125	△15,208
営業活動によるキャッシュ・フロー	△37,573	660,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△600,000	△600,000
有価証券の償還による収入	600,000	600,000
有形固定資産の取得による支出	△29,577	△26,040
投資有価証券の取得による支出	—	△472,749
投資有価証券の償還による収入	500,000	—
無形固定資産の取得による支出	△6,150	△1,240
敷金の回収による収入	1,638	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	465,910	△500,029
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△108	△291
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108	△291
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,228	7,098
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	433,455	167,753
現金及び現金同等物の期首残高	2,002,540	2,435,996
現金及び現金同等物の期末残高	2,435,996	2,603,750

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(会計方針の変更)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、IPコア等の開発・製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	993.30円	1,099.42円
1株当たり当期純利益	7.17円	105.33円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,124,151	3,457,844
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,124,151	3,457,844
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	3,145,234	3,145,160

3. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	22,569	331,268
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	22,569	331,268
普通株式の期中平均株式数(株)	3,146,773	3,145,185

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 最近における四半期毎の業績の推移

2024年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 2023年4月～ 2023年6月	第2四半期 2023年7月～ 2023年9月	第3四半期 2023年10月～ 2023年12月	第4四半期 2024年1月～ 2024年3月
売上高	699,165	742,931	850,573	723,392
売上総利益	256,344	342,473	351,584	319,932
営業利益	30,196	104,590	126,578	67,207
経常利益	32,833	107,336	124,045	66,262
税金等調整前四半期純利益	32,833	107,336	124,045	66,262
四半期純利益	26,411	94,614	100,972	109,271
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,411	94,614	100,972	109,271
四半期包括利益	26,658	94,710	98,255	114,358
1株当たり四半期純利益	8.40円	30.08	32.10	34.74円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	3,684,722	3,691,464	3,893,835	3,919,796
純資産	3,150,810	3,245,229	3,343,485	3,457,844
1株当たり純資産	1,001.77円	1,031.82	1,063.06	1,099.42円

2023年3月期

(単位：千円)

	第1四半期 2022年4月～ 2022年6月	第2四半期 2022年7月～ 2022年9月	第3四半期 2022年10月～ 2022年12月	第4四半期 2023年1月～ 2023年3月
売上高	387,671	537,683	654,471	742,286
売上総利益	119,257	190,020	258,820	292,576
営業利益又は営業損失(△)	△89,267	△13,573	41,887	88,012
経常利益又は経常損失(△)	△83,735	△10,570	35,813	87,307
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△83,735	△10,570	35,813	87,307
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△84,308	△11,143	35,240	82,780
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△84,308	△11,143	35,240	82,780
四半期包括利益	△79,661	△10,990	35,057	84,372
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)	△26.79円	△3.54円	11.20円	26.32円
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
総資産	3,463,998	3,485,580	3,557,274	3,842,109
純資産	3,015,821	3,004,830	3,039,888	3,124,151
1株当たり純資産	958.23円	954.74円	965.88円	993.30円